

【プログラムの内容】

株式会社家守舎桃ノ音は藤田駅前の開発事業「森のスミカ」を行っています。過疎の問題解決には、社会全体の流れをひっくり返す、新しい考え方・行動力・連携が必要不可欠です。エコハウスの見学や講義、そして産品収穫等を通し、自分の住む町のまちづくりについて考えてみましょう。戦略が伝わるリアルな講演・集いたくなる現地の雰囲気・賑わう人の息づかい・経営の創意工夫がまるごと体験できる最新の社会課題対応型のプログラムです。

- ▶国見町で飲食店を経営している方にお話を伺う。
- ▶国見町の特産品である果物(桃、りんご、柿)の収穫体験を行う。
- ▶アカリ内にあるシチリア料理店で国見の食材を使った料理を堪能し、地産地消の理解を深める。

【SDGs「17の目標(ゴール)と169のターゲット】

- ▶7-2,再生可能エネルギーを使用しながら快適に過ごせるエコハウスの拡充と周知
- ▶11-a,都市部と農村部とが経済的、社会的、環境的につながりあうまちづくり

駅前に、森の中で暮らすような心地よさを。



森のスミカの事業とは？



CAFE & HOTELカジツの視察



季節折々の農業体験



地域食材をいただく

事前学習

- ▶国見町の紹介としてkunimi short film(youtube)を見てもらう。
- ▶桃,りんご,柿の生育について調べる。
- ▶エコハウスについて調べる。

【施設で対応できること】

- ▶収穫体験を行う農場の紹介資料送付
- ▶国見町のパンフレット配布

現地学習

- ▶藤田駅前の開発事業「森のスミカ」についての講義とエコハウスの見学。
- ▶旬の果物(桃,りんご,柿)の収穫体験を行い、自分で収穫した果物を食べてみる。
- ▶アカリ内にあるシチリア料理店で、国見の食材を使った料理を堪能し、地産地消の理解を深める。
- ▶町の飲食経営されている方からお話を伺う。

事後学習

- ▶住み続けられるまちづくりとはなにかを考える。
- ▶自分の街が住み続けられるようにするにはどうしたらよいかを考える。
- ▶自らの職業選択と結びつけて考えてみる。

【施設で対応できること】

- ▶町の空き家等をつかったイベント活用例の資料送付

受入人数	20人程度
受入可能時期(休業日)	7月下旬～11月下旬
受入可能時間	9時～16時
体験時間	4時間～5時間

対象	高校生
1人/1回 当たり料金	体験料：11,000円 (Trattoria da Martinoでの昼食代を含む)
備考 (雨天対応等)	雨天時：収穫体験は中止。代わりに車で果樹園をまわり、果物の試食を行う。

▶問い合わせ

企業/施設名称：株式会社家守舎桃ノ音
担当名：宮崎
TEL：024-573-9013
営業時間：8時30分～16時30分
休館日：月曜日

